

平成31年2月4日
港湾局海洋・環境課

釣り文化振興促進モデル港の募集を開始

～安全な釣り場提供による地域振興に向けて～

国土交通省港湾局は、観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の利活用を進めているところ、地域の関係者による釣り文化振興の取組が進められている港湾を、地元協議会等からの申請により、釣り文化の促進をする港湾「モデル港」として、港湾局が指定することとし、募集をおこないます。

地方創生を目的とした観光等の取組を進めている中で、国土交通省港湾局は、観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の利活用を進めています。

一方、立入を禁止した防波堤等での釣り人の転落事故等も見受けられますが、安全対策をしっかりと行い、ルールを作り、関係機関の連携の下、防波堤等の港湾施設を多目的使用をしていくことが、むしろ事故の防止・減少につながることもなると考えられます。

このような背景の下、地域の関係者による釣り文化振興の取組が進められている港湾を、地元協議会等からの応募により、釣り文化の促進をする港湾「モデル港」として、別添の通り、港湾局長が指定することとしました。

「モデル港」には、直轄事務所による協議会等の効率的な運営に関する技術的な支援、(公財)日本釣振興会による安全対策やマナー教育への支援等を予定しています。

また、「モデル港」の取組を他港へ紹介し、地方創生に向けた釣り文化振興の取組の促進を進めて参ります。

【指定概要】

- ①モデル港募集の詳細は別添をご覧ください。
- ②メールによる応募となり、応募期限は平成31年3月14日(木)になります。
- ③モデル港指定の結果につきましては、平成30年度末頃に今回の募集と同様に報道発表いたします。

【港湾の釣り施設の例；熱海港】



提供：施設運営法人SEA WEB

【問い合わせ先】

港湾局 (代表) 03-5253-8111

海洋・環境課 港湾環境政策室 成川(内線46672)、青島(内線46673)

直通03-5253-8685、FAX 03-5253-1653

「釣り文化振興促進モデル港」の指定について

国土交通省港湾局海洋・環境課

1. 「モデル港」指定要件

「釣り文化振興促進モデル港」の指定に対する要件は、以下の通りです。

以下の要件を総合的に判断して指定を行います。

- ① 釣りによる地域創生・地域活性化を図るという地域の意向があること。
- ② 釣り客の需要が一定程度見込まれること。
- ③ 釣果が見込まれる防波堤等の港湾施設があること。
- ④ 地元関係者からなる協議会等*が組織されていること。

※； 構成員には、港湾管理者、地元市町村の参画が必要。また、協議会等が組織されて間もなく、申請時に活動実績が無くても可。なお、港湾所在市町村が複数ある場合は、釣り開放の候補となる防波堤等の港湾施設が所在する市町村のみの参画でもよい。

2. 提出物

応募時に、提出いただく資料は以下の通りです。

- ① 「釣り文化振興促進モデル港」応募用紙（様式）
- ② 釣り振興の取り組み状況・予定（自由様式）
- ③ 添付書類
 - 協議会等の名簿（構成組織が判るもの）
 - 施設位置図（港湾計画図等に釣り開放の候補となる防波堤等の港湾施設が判るように概ねの位置に印を付けたもの。）

3. 提出方法

2. の提出物の電子ファイルをメールに添付し、平成31年3月14日(木)までに下記担当へご提出ください。

4. 支援策

- ・直轄事務所による協議会等の効率的な運営に関する技術的な支援
- ・「(公) 日本釣振興会」による安全対策やマナー教育への支援
- ・「全国協議会（今後立ち上げ予定）」における情報交換・交流
- ・国交省港湾局からの情報発信等による広報

担当（提出先）： 港湾局海洋・環境課 青島、眞鍋

E-mail ; aoshima-t83ab@mlit.go.jp

manabe-a2hd@mlit.go.jp

【様 式】

「釣り文化振興促進モデル港」応募用紙

年 月 日

国土交通省
港湾局長 殿

応募者 ○○○○（協議会等の名称）

「釣り文化振興促進モデル港」に応募します。

1. 港湾名		
2. 釣り開放の候補となる 防波堤等の港湾施設名		
3. 協議会等事務局	窓口担当者名	
	所属機関等名	
	住 所	
	電話番号	
	メールアドレス	